

愛猫シズクのいつてらっしやいのキスが
長くてあつたかくて幸せな朝

同人音声サークル『ウラオモテ』

早朝。主人公のアパートの一室。

外からは小鳥のさえずり。

目覚める主人公。

シズク、布団の中で主人公の胸元に抱きついたまま眠っている。

◆正面下／100% 胸元﴿寝ぼけ声﴾

シズクー 「すー……すー……すー……ん、すー……」

主人公、シズクをそつと撫でる。

(胸元に顔すりすり。気持ちよさそう)

シズクゝ 「んあゝ……あはっ……ああゝ……」

シズク、寝ぼけている。

シズクゑ 「もうハンバーグ、食べれない……」

シズクヲ 「うええ？ イチゴパフェもお？」

シズクㇿ 「しよゝがないなあゝゝ」

シズク、主人公の指を咥えてモグモグ。

シズクㇿ 「食べううゝ……はあゝむ」

【ここから指を咥えながら】

シズクゝ 「あむあむ……あむあむあむ……」

シズクゑ 「んふふー♪ おいひい♪ あむ♪ ちゅぷ、れる、

ちゅう、はむ、ちゅぽ……」

シズク、半分目が覚める。

【指咥えここまで】

シズク ㊦
「ん……ん……？　ありえ？　ご主人っ、イチゴパフェどっ」

へふやけた声、ゆっくりと

シズク ㊦
「あ、夢か……（舌なめずり）……えへ、よだれ出ちゃった……（ごくり）」

シズク ㊦
「あはは♪　おはようご主じゅん」
シズク ㊦
「またご主人の指シワシワにしちゃった」

シズク ㊦
「ふふ♪」

シズク ㊦
「うん♪　美味しい夢見てた」

シズク ㊦
「おっきいハンバーグ、がうつ♪　って」

《◆正面/20c 胸元から枕元へ行くイメージ》

シズク ㊦
「ん、しょ……はあ」

シズク ㊦
「えへ、おてて寒くなっちゃった？」

シズク ㊦
「じゃあ……」

《◆正面/10c ゆっくり近づく》　へ囁き

シズク ㊦
「ここに挟めば、あったかいよっ」

どこに挟んだかはご想像に。　へふやけた声

シズク ㊦
「おてて貸して？　ここにい……むにゅって……んふ、あったかいでしょ♪」

シズク ㊦
「うん♪　ぽっかぽか♪」

シズク ㊦
「あはは♪　手動かしちやだめだよ♪　くすぐったあい♪　んふ、あはは♪　だーめ♪　じっとして♪　むー♪」

ゆったりと柔らかなキス。鋭いリップ音ではなく、
むちゅ〜つと、ねつとりとろけた音を意識。

《◆正面/0cm ゆっくり近づいてキス》

シズク 23 「んー……ちゅう」

《◆正面/10cm》

シズク 24 「いひ♪ おはよーのちゅーしちゃった」

(『うん♪』は文字通りよりは『んん♪』な感じ)

シズク 25 「もう一回？ うん♪」

《◆正面/0cm ゆっくり近づいてキス》

シズク 26 「……ちゅう……はあ、ちゅ……ちゅう……ふう、
ん……ちゅう」

(「」「囁き」)

シズク 27 「もう一回？ えへ」

ゆっくり、舌で口内をかき混ぜるように。

シズク 28 「はあ……む、こちゅ、こちゅ、こちゅ、こちゅ……
んちゅうう……」

《◆正面/10cm 涎の橋をかけながら戻る感じ》

シズク 29 「ぶああ……あはは♪ ずっと『もう一回』じゃ
ん♪」

シズク 30 「ほら、ご主人今日もお外でしょ？」

シズク 31 「うん、頑張ってるね」

シズク 32 「お留守番してる」

布団でもぞもぞ。気持ちよさそうに一息。

シズク 33 「（一呼吸）」

シズク 34 「今日は、ちよつと運動しよっかな」

シズク 35 「なわとびと〜……腕立て伏せ〜……えへ」

シズク 36 「牛乳にい、プロテイン混ぜて飲むの〜」

シズク 37 「そー」

シズク 38 「今年は、ムチムチじゃなくて、ムキムキのシズクになるんですっ♪ んふー♪」

シズク 39 「筋肉つけばさ、ほら……イチゴジャムのキャップも、ご主人に頼まないで、開けれるでしょ?」

シズク 40 「そしたら、ご主人がいなくても、イチゴジャムトースト食べ放題♪」

シズク 41 「あははは♪ だから太るんだよねえ♪ ごめんなさあい♪ くす♪ あはは♪」

くすくす笑いながら照れキス。

《正面/0cm》

シズク 42 「ん、ちゅ♪ くす♪ ちゅう♪ んふふ♪

ちゅう♪ んー? ちゅ♪ またちゅーしちゃってる♪
ちゅっちゅ♪ 時間大丈夫? ちゅう♪ 電車とか。
れる、ちゅ♪ ちゅっちゅ♪」

《正面/10cm》

シズク 43 「……じゃあ、あと五分ね?」

吐息まじりのキス。

《◆正面/0cm》

シズク ㊦ 「はあ……ん、ちゅ……ちゅう、はあ、ちゅ」

(「」「」囁き)

シズク ㊦ 「息あったかい」

シズク ㊦ 「はあ……うん♪ はあ、当たってる……はあはあ」

シズク ㊦ 「ちゅ……ん、ちゅう……ちゅ、はあ」

シズク ㊦ 「頭、ぼーとしちゃうね……ちゅ、はああ……ん、ちゅう……時間忘れちゃう……ちゅ、ちゅ」

《◆正面/10cm》

シズク ㊦ 「はあ、はあ……んふふ♪ こうやって、同じ枕で、向き合って寝てるの……あったかくて好き」

シズク ㊦ 「はあ」

シズク ㊦ 「ご主人……ほっぺ、なでなでして？」

シズク ㊦ 「おねがい♪」

シズク、ほっぺをなでられる。

顔をふにふに、ふにやふにやな声。

シズク ㊦ 「ん、あうう……♪ ふあああ♪ ああ♪」

ふに、ふに、ふに、ふに。

シズク ㊦ 「あうう、あうう、あうう、あうう」

ふにゅー。(口をすぼめながら)

シズク ㊦ 「う、ううううう。ご主人っ。ほっぺ潰さないでよっ。
うううう♪ うふふ、ふひ、ふふふふ♪ 笑い方変になっっちゃうってば♪ んむううう♪」

ほっぺを離される。

シズク 56

「ぶあー！ もー。ふにふにしすぎはだめっ」

ふにゅー。

【ここから口をすぼめながら】

シズク 57

「んうううう！ またあー！」

《◆正面/0cm 近づいてー、キス》

シズク 58

「んー、ちゅっ」

《◆正面/10cm 戻る》

シズク 59

「お口タコさんみたいになっちゃってゆ」

《◆正面/0cm 近づいてー、キス》

シズク 60

「んー、ちゅっ」

《◆正面/10cm 戻る》

シズク 61

「くすくす♪」

《◆正面/0cm 近づいてー、キス》

シズク 62

「んー、ちゅっ」

《◆正面/10cm 戻る》

シズク 63

「ご主人♪」

《◆正面/0cm 近づいてー、キス》

シズク 64

「んー、ちゅっ」

《◆正面/10cm 戻る》

シズク 65

「いつまでこれやるの♪」

《◆正面/0cm 近づいてー、キス》

シズク 66

「んー、ちゅっ♪ ちゅっちゅ♪」

【ここまで口すぼめ】

《◆正面/10cm 戻る》

シズク 67

「あはは♪ ラブラブなちゅーだねえ♪」

シズク 68

「私も、お返し♪」

シズク、主人公の顔に手を当てる。

シズク 69

「ご主人のほっぺ捕まえてえ……」

(口内をゆっくりかき混ぜるキス)

《◆正面/0cm 近づいて、ねっとり食べるキス》

シズク 70

「はあ……んちゅう、れえる、ちゅ、れる……んちゅう、はあ……れえる、れえる、れえる」

【ここから囁き】

シズク 71

「えへ♪ 逃げらんないよ♪」

シズク 72

「んちゅう、れえる、れえる……こちゅ、こちゅ、くちゅ、くちゅ……れる、れる……んちゅう」

シズク 73

「ご主人……れえる、れる……お留守番、さびしいから……れる……早く帰ってきてね？ れえる、れる」

【ここまで囁き】

《◆正面/10cm 戻る》

シズク 74

「うん♪ 約束♪」

《◆正面/0cm 近づいて、ゆっくりとろけるキス》

シズク 75

「はあ……れえる、れる、れろ、れる……こちゅ、こちゅ、こちゅこちゅこちゅ……むちゅぶ、れる……ちゅう、れる……れろ、れる……れえる、れえる……こちゅ、こちゅ、こちゅ」

《◆正面/100% 戻る》 (「」囁き)

シズク 76 「はあ……ベーってして?。」

《◆正面/0% ゆっくり舌をしゃぶるようなキス》

シズク 77 「ん……はあ、む♪ ちゅう……はあむ、ちゅ♪
はあーむっ、ちゅっ♪」

シズク 78 「はあー……あむっ♪ ちゅ♪」

シズク 79 「はむ、はむ、はむ……あむ、あむ、んふ♪ あった
かい……はむ、はむ……ああ、むっ♪ ちゅ♪」

《◆正面/100% 戻る》

シズク 80 「ふふ♪ 時間大丈夫?」

(首傾げるようなしぐさ、若干左右に揺れ)

シズク 81 「ほんとお?」

シズク 82 「ほんとに?」

シズク 83 「走れば平気?」

シズク 84 「あはは♪」

シズク 85 「……じゃあ、もうあと五分ね」

《◆右耳/100% 移動》

シズク 86 「ご主人はあ、仰向けになって」

シズク 87 「そーそー。天井向いて、目えっむってて?」

《◆右耳/0% 近づき、吐息が当たる》 (抑えめ)

シズク 88 「ふう、はあ」

シズク 89 「ふふ♪ 何されちゃうか、分かっちゃった?」

シズク 90 「んふ、ご主人って、お耳舐められたら、一発で起きてくれるでしょ?」

シズク ㊦ 「集中できるように、ここに、（囁き）いつてらっ
しゃいのキス、してあげる」

ゆったりとした耳舐め。鋭い音は入れない。

シズク ㊧ 「はあ……れえる、れえる……れろ、れえる……
はああ……れえる、れる……んー、動かないで♪
れえる、れろ、れえる……れろ、れろ、れえる」

シズク ㊨ 「（囁き）頑張るご主人も、だーいすき♪」

シズク ㊩ 「はあ、れえる、れる、れえる……うん♪ れえる、
ご主人はすごいから……れえる、いっぱい頑張れるよ。
れる、れる、れえる……はあ、れえる」

シズク ㊪ 「でも、れる、もうヤダなあつてなったらあ……
（囁き）すぐ帰ってきていいからね」

シズク ㊫ 「れる、ふふ、帰れるでしょ♪ れる、れる♪ 猫の
具合が悪いからー、とか言ってさ♪ れえる、れえ
る……正当な理由ってやつだよね♪」

シズク ㊬ 「はあむ♪ れえる、れる、れる♪ 心配なら、れる、
カメラで電話もできるから、れえる♪ お昼になった
らあ、れる、お話しよ?」

シズク ㊭ 「はあ、れえる、れる、れえる……れろ、れえる……
んふ、話聞してる? れえる、ご主人とろけちやつて
る♪ れえる、れる、れえる♪ お外出たくなーいつ
て感じ。れえる、れる」

仕事やだー。

シズク ㊮ 「んー、今日も頑張るのっ」

シズク ㊯ 「頑張ろ?」

シズク 101 「そしたら、お夕飯作って待ってるから」

シズク 102 「うん♪ 今日はカレーライスにしようかなーって」

シズク 103 「えへへ♪ 見よう見まね♪ 夜ご飯は、私に任せてよ♪」

シズク 104 「うん♪」

《◆左耳/100%へ、またがるように移動》

シズク 105 「ん、ふう……ん、しょ♪」

シズク 106 「布団ズレちゃった、寒い、えへ」

《◆左耳/0% 近づく》

シズク 107 「んー、くつつこ?」

左耳もゆったり耳舐め。

シズク 108 「はああ……れえる、れる……れえろ、れえる、れる、
れる……目覚めてきた? れる、れる、(笑) 眠く
なっちゃった? あれえ? えへ♪ れえる、れる、
れる、れる……はあ、れえる」

ふいうち耳ふー。

シズク 109 「……ふうー」

シズク 110 「ふふ♪ 目覚めた?」

シズク 111 「うん♪ うふふ♪ 寝ちやだめだからね?」

(「」囁き)

シズク 112 「寝たらあ……耳たぶ食べちゃう」

耳はむはむ。

シズク 113 「はあ……あむ……あむ、あむ……はむ、ああむ……
れる、あむあむ……はあむ、ふあ……はあむ、ふあ」

シズク 124 「余計眠くなっちゃうかなあ」

耳を咥えて、ゆっくり深い耳舐め。

シズク 125 「はむ、はむ……れえる、れえる、れえる……れえろ、れえる、れえる……はあむ、れえる、れえる」

シズク 126 「お外で頑張れるように、元気にしようと思ったのに」

シズク 127 「はむ、はむ、はあむ……れえる、れる、れる……れえる、れる……んはあ、あむっ……れえる、れる」

シズク 128 「元気になってる？ れえる」

シズク 129 「ほんと？ れえる、れえる」

シズク 120 「元気いっぱい？ れる、れえる」

シズク 121 「良かった……れえる、れる……れえる、れる、れえろ、れる……はむ、はむ、はむ……れえる、ぷあ」

また向き合う。

《◆正面/10cm 移動》

シズク 122 「ん、はあ」

シズク 123 「もう時間もギリギリだし……最後、いつてらっしゃいのちゅー」

《◆正面/0cm》

シズク 124 「んー……ちゅ」

シズク 125 「今日も、頑張ってね」

頑張る。

シズク 126 「うん」

まだちょっとキス。ねっとり。

シズク 127 「ちゅ……んちゅ……ちゅ……ちゅう」

《◆正面/10cm》

シズク 128 「くすくす♪ あと一分？」

シズク 129 「じゃあ、なでなでして？ 最後いっぱいちゅーしよ♪」

鳴き声まじりの甘いとろとろキス。

《◆正面/0cm》

シズク 130 「はあ、んー♪ れえる、ちゅぶ、れる♪ ちゅ、れる、ちゅう♪ んにゃあ♪ ちゅぶ、ちゅんにゃあう♪ れる、れる、ちゅれる、ちゅぷん♪ にゃあ♪ れえる、れる、ちゅう、ちゅっ♪」

シズク 131 「うーしゅーじん♪ ちゅ♪ じーかんっ♪ れる、ちゅ♪ もー♪ れるれる、ちゅ♪ にゃあう♪ れる、ちゅれる、れえる、ちゅう♪ はあ、ん♪ ちゅ、れる、れるれる♪」

シズク 132 「はあ……れえる、れるれるれる、れるれるれる……こちゅこちゅこちゅ……くちゅくちゅ、ぶあ」

シズク 133 「えへへ♪ いってらっしやあい♪ れるれるれる、ちゅ、れえる、ちゅぷん♪ はあ、れえる、れるれる、れるれる」

(フェードアウト)